

## 守るべきは守る 変えるべきは変える



このことばは、先日行われた県の施設長研修会で小笠原先生がお話をされた中に出てきたことばです。「これからの社会福祉法人には、地域貢献をはじめ、かなり厳しいものが求められてくる。自分たちがすべきことは何かをしっかりと自覚し、守るべきは守り変えるべきは変えていかななくてはいけない。」みたいな話をされました。

37年間の教職生活でも感じたことですが、学校の取り組みを変えることにはかなりの抵抗感を示され、今まで通りということがいかに多かったかと思っています。ましてや、自分自身を変えるということはなかなかのことです。

学苑職員と利用者さんとのかかわり、学苑と家庭の連携、家庭での親子関係、人は人と人とのかかわりの中でしか成長していきません。もう一度、見直してみませんか。そして、何か一つ変えていくものを見つけてみましょう。もちろん自分自身の考えやかかわり方を。守るべきことは守りながら。



## うまかぁ 白玉団子

先週、つくしグループの調理活動で、白玉団子を作って抹茶やきな粉や小豆を盛りつけて食べました。なかなか

かの手つきで、なかなかしょうずな真ん丸な白玉団子ができていました。味は、「うまかぁ〜」。

支援学校にいる時には、ご家庭に何か責任のある家事をさせてほしいとお願いして

いました。これをして、あれをしてのお手伝いではなく、「あなたがこれをしてくれるから、助かる」という毎日できるお仕事をお願いしていました。その仕事はどんなことでもいいのです、生徒にできることを。それが、生徒の自立につながると考えていました。

ご家庭ではどうですか。何か家事の一役を担っていますでしょうか。そして、その家事が終わったら、「ありがとう、助かった」とひと言添えてみてください。



## うまかぁ 陶芸作品

ばらグループでは、本年度初めての本焼きをしました。今は電気窯ですから、温度設定をしてスイッチを入れると焼き上がりまで勝手にやってくれます。養護学校で初めて陶芸を作業学習に取り入れたのは、昭和56年ころの天草養護学校です。私は小学部にいましたので、直接にはかかわっていないのですが、焼き始めから焼き終わりの12時間ほどは

付きっきりのようでした。陶芸は楽しいのですが、作業の準備や製作後の後処理などがとっても大変です。(職員の仕事になりますか)

今回も、とってもいいものがたくさんでき上がっていました。でき上がった製品をペーパーで磨く手つきも慣れたものです。平倉さんが作った動物の作品「うまかぁ〜」。ちょっと気分次第というところもあるみたいで、たくさんできないのが難点ですかね。

